

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		選択	2	4	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
齊藤 晋治	B308	s-saito	水曜・木曜 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 精神保健福祉援助実習を通して理解した精神保健福祉士の価値、実践について体系的に理解できるようになる。精神保健福祉援助実習を通して体得した精神保健福祉士の視点、支援を理論化、文章化し、体系的な理解を深め、実習報告書を完成させることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt; Teams を活用し、同時双方向授業で実施する。前半、精神保健福祉援助実習の振り返りを全体で行い、その後、後半は各自が実習報告書を作成し、個別指導を受け、完成後、実習報告会で成果を報告する。</p>				
学習上の助言	実習記録をまとめておくとともに、精神保健福祉に関する時事問題について理解を深めるため、新聞等に目を通しておくこと				
教科書	新・精神保健福祉士養成講座9 精神保健福祉援助実習指導・実習 中央法規出版				
参考書	「学外実習の手引き」(健康科学大学福祉心理学科編集)				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉援助実習の学びの整理ができる			精(1)(2)	
②	精神保健福祉援助実習での自己の課題を発見し受け止める。			精(1)(2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業オリエンテーション: 授業概要、学習方法を理解する	同時双方向型授業	教科書を読む。		4
2	実習記録、実習体験を踏まえた自己の課題の整理を行う①	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
3	実習記録、実習体験を踏まえた自己の課題の整理を行う②	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
4	実習記録、実習体験を踏まえた自己の課題の整理を行う③	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
5	実習で必要とされた精神保健福祉士の援助の視点を理解する	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
6	実習で必要とされた精神保健福祉士の援助に必要な知識を理解する	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
7	実習で必要とされた精神保健福祉士の援助に必要な技術を理解する	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
8	精神保健福祉士として必要な専門職スキルを整理する①	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
9	精神保健福祉士として必要な専門職スキルを整理する②	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
10	実習総括レポート (実習報告書) を作成する①	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
11	実習総括レポート (実習報告書) を作成する②	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
12	実習総括レポート (実習報告書) を作成する③	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
13	実習総括レポート (実習報告書) を作成する④	同時双方向型授業	実習日誌の整理。		4
14	実習報告会で発表を行う①	同時双方向型授業	プレゼンテーションの内容確認		4
15	実習報告会で発表を行う②	同時双方向型授業	プレゼンテーションの内容確認		4
試					

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	60	40	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20	
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	0	20	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	10	10	0	0	20	
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	授業での取り組み姿勢、実習報告書における、実習での学びについての整理が行われているかを評価する。				実習のまとめ、実習報告書の添削指導を実施する。	
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	実習報告会に向けて、プレゼンテーション技術・実習報告の内容について評価する。実習の内容、実習での学び、実習後の課題についての理解度を問う。				実習報告会での報告について、終了後にレビューを行う。	
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨します。</li> <li>・ Teams を使って遠隔授業も行います。課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分注意してください。</li> <li>・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がありえますので、ご承知のほどお願いします。</li> </ul>								
担当教員：◎齊藤 晋治、古川 奨								
<b>教員の実務経験</b> 齊藤晋治：精神科ソーシャルワーカー、精神保健福祉士として 15 年の臨床経験。 古川 奨：ソーシャルワーカー、精神保健福祉士として 9 年の臨床経験。								
<b>実践的授業の内容</b> ：教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、精神保健福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。								